

市交際費の支出状況



令和3年4月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	10,000
	累計	1	10,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	2	8,740
	累計	2	8,740
賛助	今月分	0	0
	累計	0	0
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	0	0
	累計	0	0
会費	今月分	0	0
	累計	0	0
その他	今月分	0	0
	累計	0	0
合計	今月分	3	18,740
	累計	3	18,740

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

市長コラム

「女性の人権問題を考える」

今なお、「女だから…」などと言う人がいます。女性というだけで社会参加や就職の機会が奪われることがあります。また、家庭内暴力(DV)や性犯罪・性暴力に巻き込まれる女性も少なくありません。男女平等の理念は、「日本国憲法」にも明記されていますが、現実には「男は仕事、女は家庭」といった男女の役割を固定的にとらえる意識が社会に根強く残っています。

元東京オリンピック・パラリンピック会長が「女性がいると会議が長くなる」という差別発言で世界からも大批判を受け辞任したことも記憶に新しいと思います。世界各国の男女平等度を表す「ジェン

tomon i kiru

ダー・ギャップ指数」で日本は120位と依然として低い順位を記録しました。教育、健康の分野では日本はトップクラスにいますが、政治分野では、日本は他の先進国に比べて最低クラスに位置していることが原因だと言われています。

では、私たちの日常生活の中ではどうでしょうか。地域社会での代表を決めるとき、会長は男性でないといけないとか、女性の会長は無理だとかいう意見がありませんか。

身近な組織で女性が1人でも多くその役割を担うことができれば、組織の在り方も変わっていくと思います。地域での女性の活躍が社会に広がることで、男女格差のない平等な社会につながっていくでしょう。

社会教育指導員 木村博重

Message for citizen



市長コラム



5月17日、コロナワクチン接種がスタートしました。

全国的に接種予約の混乱が報じられていますが、多久市は①コールセンター②市のホームページ③LINEによる受付で対応し、順調に経過しています。

先行接種の医療従事者に続く高齢者の皆様には4月12日に接種券を郵送しました。75歳以上は5月6日に予約受付開始、5月17日に接種を開始しました。

65歳以上74歳以下は6月から接種体制を拡充し、16日に接種開始です。その後16歳以上64歳以下の方へとなります。

さらに6月から市内かかりつけ医療機関でも接種可能です。予約は診察時にかかりつけ医師に相談して下さい。電話は控えるようお願いいたします。通常診療に支障が出るからです(本号添付チラシを参照ください)。

ワクチンは零下75度保冷の特殊容器で届き、解凍後に希釈し

コロナワクチン接種スタート

市長 横尾 俊彦 5月24日記

使用可能となり、容器からシリンジ(注射器)に1人分を移して行われます。希釈後6時間以内に使い切る必要があり、急なキャンセルがあってもワクチンを廃棄しないことが重要です。キャンセルの場合は医療福祉系エッセンシャルワーカー(日常生活を保つために必要な働き手)接種とし、廃棄しません。

市民分のワクチン数は確保されています。希望者全員にワクチン接種をめざしています。

ワクチンはコロナウイルス感染症克服の切り札とされ、全額国費負担です。皆様へ郵送する接種券・予診票、そして身分証明書・お薬手帳を忘れずに、肩の骨から指三本下部が接種箇所ですので、肩を出しやすい服装で、あわてず、気をつけてお出かけ下さい。

接種後も感染予防は不可欠です。引き続きの感染予防徹底を重ねてお願いします。